

来年春期発行を目指して出版物作成の準備が進行中

最近の状況

NEWS LETTER第15号をお届けします。新型コロナ問題に終始したこの1年でしたが、海外水ビジネス研究会は、WG活動や水道公論のレポート掲載の準備等、着々と活動を進めてきました。こうした努力の成果をもとに書籍出版の企画が作成され、来年5~6月を目指して準備が始まっています。

11月定例会を開催しました

11月19日（木）12時から14時に東京駅八重洲口ノースタワーの大和証券本店会議室で定例会を開催し、会議室に7人、zoomで3人の参加がありました。会議では、工藤さんから財務分析シリーズ：①その3 財務分析の全体像、②その4 時価総額、PBR、PER分析、③その5 東京都とニューヨーク市の上下水道事業体の比較など）についての説明があり、米国の民間水道事業会社の業容の大きさ、ニューヨーク市上下水道事業体の資金調達が負債に依存していることなどの認識を新たにしました。質疑応答では、日本の水道事業体の財務分析に時価を持ち込むことの難しさやバリュウフォーマナーをめぐる意見がありました。引き続き工藤さんを中心に財務分析シリーズの検討が進められます。

水道公論12月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、田路明宏さん（株式会社神鋼環境ソリューション）に「ベトナムを含む東南アジアでの事業展開」について寄稿していただきました。コラム「海外水ビジネスの眼」では世銀グループと公的金融機関の規模比較①」を掲載します。



サザンカ全般の花言葉には、「困難に打ち克つ」「ひたむきさ」という意味があるそうです。

撮影：2020年11月の実地見学から

定例会・準定例会の計画について

- 海外水ビジネス企業の財務諸表を分析する作業グループのzoom打ち合わせ第3回が12月3日（木）20時から
- ZOOM幹事会が12月11日（金）20時から
- 定例会が12月17日（木）11時から13時。講師は森本さん（シュタットベルケの調査結果の報告）。会場は、東京駅八重洲口ノースタワーの大和証券本店会議室。ZOOMも併用。
- 12月28日（月）20時からZOOM忘年会の開催

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。